

帰宅困難者にならないために



◎家族との安否確認方法を決めておきましょう



電話はつながりにくくなります。安否確認方法や避難先を決めておく心安心です。また、保育園・幼稚園等の施設に家族を通わせている方は、事前に施設側と連絡方法を話し合っておきましょう。

- 家族で非常時の連絡方法を話し合っていますか
- 「災害伝言ダイヤル171」「災害用伝言版」等の利用方法を確認していますか
- 避難場所や安全な避難経路を確認していますか
- 地震など自然災害に対する知識と避難方法など家族で話し合っていますか



◎徒歩で帰るための備えをしましょう

徒歩帰宅を想定して職場のロッカーなどに必要なものを備えておきましょう。

あると便利なモノの一例

- 飲料水 手袋 タオル 簡易食料 リュック 雨具
- 懐中電灯 予備乾電池 充電器 携帯ラジオ 絆創膏
- 携帯用カイロ 衣類(歩きやすいズボン・靴下など) 運動靴
- ポケットティッシュ・ウェットティッシュ 防犯ブザー マスク
- 消毒用アルコール ※ 半年毎に点検しましょう！

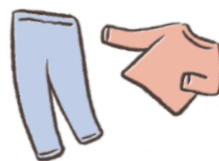


◎事業所に留まるための備えをしましょう

事業所への宿泊を想定して職場のロッカーなどに必要なものを備えておきましょう。

あると便利なモノの一例

- 飲料水 タオル 食料 懐中電灯 予備乾電池
- 充電器 衣類、下着 生理用品 洗面用具
- ポケットティッシュ・ウェットティッシュ 寝袋 マスク
- 消毒用アルコール 体温計 手洗い用せっけんなどの衛生用品
- ※ 半年毎に点検しましょう！

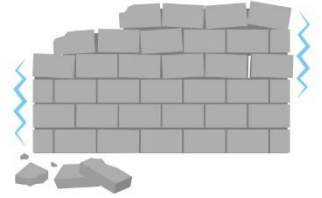




◎帰る道を確認しておきましょう

職場・学校から自宅までのルートをいくつか調べ、危険な箇所やトイレの場所など事前に確認しておきましょう

- 歩いて帰る訓練をしたことがありますか
- 2つ以上のルートを知っていますか
- ブロック塀や自動販売機など倒壊の恐れがある箇所をチェックしていますか
- 途中の公園などトイレがある場所を知っていますか



——災害が発生したら……

◆家族と決めた安否確認方法で確認しましょう

家族の安全が確認できると、落ち着いた行動がとれます。

◆緊急を要さない行動は控えましょう

すぐに帰宅行動するのは慎みましょう。一斉に行動すると大混乱となり、あらたな被害も生じます。また、道路渋滞は、緊急車両の通行の妨げとなりますので、車の使用は極力控えましょう。

正しい情報を把握し、落ち着いた行動を。



◆周囲の状況が落ち着くまで、職場・学校に留まりましょう

職場や学校でも食料や毛布などを備蓄し、緊急を要さない移動は控えるよう働きかけましょう。また、職場や学校の近くの被災者に対し、可能な限り支援活動へ協力するようにしましょう。

お問い合わせ

仙台市 危機管理局 防災・減災部 減災推進課 ☎214-3048

防災に関する情報をホームページでも提供しています

<https://www.city.sendai.jp/kikikanri/kurashi/anzen/saigaitaisaku/sonaete/joho/index.html>

